

領収書等添付表(旅費を伴う分)

(平成29年度報告分)

番号		① - 1							
領収書の内容		第79回全国都市問題会議(11月8~10日)							
用務地(場所及び住所)		沖縄県立武道館 アリーナ 沖縄県那覇市奥武山町52							
宿泊		宿泊地(住所)			宿泊施設名			宿泊料金(円)	
		沖縄県那覇市泉崎2-46			ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー			29,600	
発駅	着駅	料程	利用種別	運賃	急行料金		特別車両料金		座席指定
					料	円	料	円	円
大和八木	関西空港		自家用車	—					
関西空港	那覇空港	1189		15,300					
那覇空港	壺川	4.6	モノレール	260					
壺川	那覇空港	4.6	モノレール	260					
那覇空港	関西空港	1189		16,800					
関西空港	大和八木		自家用車	—					
合計				32,620					

【領収書等貼付欄】

- ※宿泊を伴う場合は必ず宿泊料金の領収書を添付してください。
- ※領収書原本の添付が困難な場合はコピー添付の上、その所在を明らかにしてください。

<備考>

- ・本会議は11月9日(木)午前9時30分より開会であり、前日の11月8日(水)の航空便にて沖縄県にて前泊する必要があったため、宿泊代を11月8日・9日の2日間にて計上している。
また本会議が推奨する宿泊施設の多くが満室であったため、樺原市政務活動費の用途基準申し合わせ事項において規定のある上限14,800円を超える宿泊施設に宿泊。
明細書において19,500円×2日間=39,000円となっているが、
先述したように政務活動費で計上できる上限は14,800円であるため、
実際に政務活動費にて計上できる金額は14,800円×2日間=29,600円となる。
よって2日間の宿泊に対し、39,000円-29,600円=9,400円は自費となる。
- ・大和八木から関西空港までは自家用車に乗り合わせしたため、計上しない。
- ・振込については3名分一括したため、振込手数料864円を3名にて分割
1人あたり864円÷3名=288円負担。
- ・請求書及び振込金受付書の原本は松木議員に有り。

政務活動費で計上する金額

72,508

円

〒634-8586

奈良県橿原市八木町1-1-18

橿原市議会事務局

松木 雅徳 様

ご案内

このたびは、弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
本大会のご請求、及び各種確認証をご送付いたしますので、
ご確認くださいますようお願い申し上げます。

第79回全国都市問題会議

請求書

受付番号 434

橿原市議会 様

株式会社JTB沖縄

那覇市おもろまち4-19-30新都心DLビル3階

代表取締役社長 杉本 健次



発行日 2017年10月16日

請求番号 126592-002-00717

下記の通りご請求申し上げます。期日までにお支払下さいますようお願いいたします。

請求金額合計(税込) ¥243,300 入金期日:2017年10月31日

(ご請求額内訳)

宿泊代金	¥117,000	航空代金	¥96,300	観光代金	
分科会費		懇親会費		弁当代金	
大会参加費	¥30,000	チャトルニス代金		事務手数料	
取消料		保険料		宿泊費①	
泊費②				その他	
(ご入金内訳)		お預り金		ご返金	

お問合せ先
JTBコンベンションサポートセンター
TEL:092-751-2102

担当: [Redacted]

振込先 [Redacted]
銀行名: [Redacted]
口座番号: [Redacted]
名義人: カ)JTBオキナワ

第79回全国都市問題会議

【明細書】

受付番号	434	檀原市議会	請求金額(税込)	¥243,300
------	-----	-------	----------	----------

受付番号	434 - 1	松木 雅徳 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/08	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	19500	2	¥39,000
2017/11/08	JTA005	15300	1	¥15,300
2017/11/10	ANA1740	16800	1	¥16,800
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥81,100

受付番号	434 - 2	たけだ やすひこ 様
------	---------	------------

○利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/08	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	19500	2	¥39,000
2017/11/08	JTA005	15300	1	¥15,300
2017/11/10	ANA1740	16800	1	¥16,800
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥81,100

受付番号	434 - 3	廣井 一隆 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/08	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	19500	2	¥39,000
○7/11/08	JTA005	15300	1	¥15,300
2017/11/10	ANA1740	16800	1	¥16,800
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥81,100

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

〈振込金受取書(兼振込手数料受取書)〉

※原本は、松木議員に添付

振込先口座に当日中に入金する必要がありますが、お振込のご用命は午後2時迄にお願いいたします。(他行宛の場合、とくにご注意ください。)

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

振込金受取書
振込受付書

お振込日(和暦) 29年11月2日

漢字等で左つめてご記入ください。

銀行 振込先

銀行以外の場合
 チェック 信金 信組 農協 その他

お振込先
 振込先口座番号
 1.普通 2.当座 4.貯蓄 9.その他

金額
 金額の先頭には¥マークをご記入ください。
 千円 百円 十円 円
 7243300

支店 出張所 代理店

種目区分
 現金
 振替
 入金
 入金

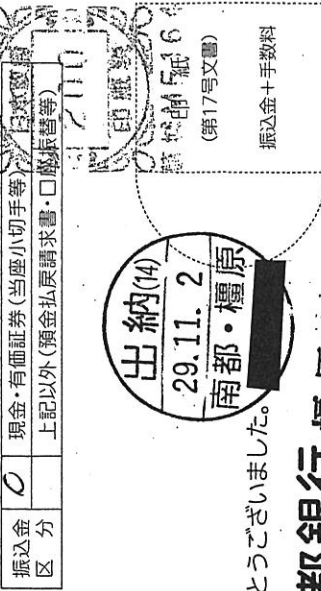
備考

消費税込手数料
 1864

手数料区分
 1.郵便 2.一括 3.未収
 特記

振込金区分
 現金・有価証券(当座小切手等)
 上記以外(預金払戻請求書・口座振替等)

*振込金区分が「現金・有価証券」のときは「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として、「それ以外」のときは「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として使用していただきます。



33204 2/2 A5

南都銀行 檀原支店 株式会社

お受取人
 カタカナ: カノ ジェイ ティー ビー オキナワ
 漢字: カノ ジェイ ティー ビー オキナワ 様

お依頼人
 カタカナ: 434 カシハラシキカイキ
 漢字: 434 檀原市議会議長 松木雅徳 様

ご連絡先電話番号
 (0744) 22-4001

日中に連絡が可能なお電話番号をご記入ください

手数料引当口座番号(一括支払のお客様のみご記入ください)

預金種目
 00.普
 01.当

実施

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	—	円
按分率	(/)	
政務活動費で計上する金額	—	円

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

《航空券代(往復)》

往路:平成29年11月8日 関西空港～那覇空港 15,300円

復路:平成29年11月10日 那覇空港～那覇空港 16,800円

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB沖縄

A No. 017807

たけた やすひこ 様

株式会社JTB沖縄
旅行営業部

〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち4丁目19番30号

平成29年12月1日

下記の金額正に領収いたしました。

¥32,100-

但し 第79回全国都市問題会議
航空券代(往復)として(往路15,300円
復路16,800円)

出納責任者	取扱者
[Redacted]	[Redacted]

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	—	円
按分率	(/)	
政務活動費で計上する金額	—	円

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

《宿泊代(11月8・9日の2日分)》

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB沖縄

A No. 017806

たけだ やすこ 様

株式会社JTB沖縄
旅行営業部

〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち4丁目19番30号

平成29年12月1日

下記の金額正に領収いたしました。

¥39,000-

但し 第19回全国都市向題会議

宿泊費として(11/8-9の2日分)

(1泊19,500)

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

1泊あたり 39,000円 ÷ 2泊 = 19,500円

※領収書のうち、9,400円分は自費。政務活動費で計上する宿泊代は29,600円

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	—	円
按分率	(/)	
政務活動費で計上する金額	—	円

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

〈会議参加費領収書〉

会議参加費領収書

たけだ やすひこ 様

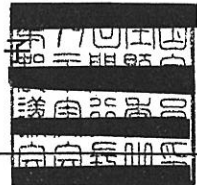
金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成29年11月2日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長 城 間 幹



※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	— 円
按分率	(/)
政務活動費で計上する金額	— 円

平成29年12月1日

檀原市議会議長

様

細川佳秀

檀原市議会議員

たけだ やすひこ



研修会(勉強会)参加報告書

- このたび、政務調査活動の一環として、下記のとおり研修会(勉強会)に参加したので、報告します。

記

① 研修会(勉強会)参加日

平成29年11月9日(木)～

平成29年11月10日(金) [1泊2日]

② 開催会場

那覇市 沖縄県立武道館

③ 研修課題
(勉強課題)

ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略

④ 研修内容

別紙のとおり

研修会名称 (勉強会名称)	第 79 回 全国都市問題会議
開催日時	平成 29 年 11 月 9 日 (木) 9 時 30 分 ~ 17 時 00 分
開催会場	那覇市 沖縄県立武道館
テ ー マ	ひとがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略
開会式 9 : 30 ~	開 会 挨 拶 全国市長会会長 松浦 正人 開催市市長挨拶 沖縄県那覇市市長 城間 幹子 来 賓 挨 拶 沖縄県知事 翁長 雄志
基調講演 9 : 50 ~	<p>全国の都市自治体において、まちづくりの未来を予感させる“新しい風”が吹いている。それは、昨年、訪日外国人数が初めて 2,000 万人を超え大きな話題となった。政府は 2020 年に訪日外国人数を 4,000 万人にすることを目標に掲げている事からも「ひとの動き」である。とりわけ「価値観の多様化」による地方への関心度が特に目をひくものである。観光資源をめぐるツアー観光から、まちを歩き、地域の文化や歴史に触れ、住民との交流を楽しむ体験型・滞在型観光へとトレンドが変化をしているからである。こうした変化の根底には「ひとのつながり」の価値の再認識があり、社会・経済状況の変化に伴う地域の支え合いが改めて重要視されるようになった。SNS に代表されるように、ICT の発達と普及により、新たなひとのつながりが生まれている。東日本大震災や熊本地震など、大規模な災害が頻発する中で、「ひとのつながること（絆）」の尊さが浮き彫りになっている。本格的な超高齢・人口減少社会が到来する中、全国の都市において、ひとの動きの活発化、その動機や目的（価値観）の多様化といった“新しい風”をつかみ、都市をさらに発展させていくことが求められている。</p> <p>以上の認識のもと、第 79 回全国都市問題会議では「ひとがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略」をテーマとして、“都市の魅力”、“ひとがつなぐ”、“地域の創生”という、まちづくりのキーワードについて考え、議論を進めていくうえでの“きっかけ”となることをせつに望みます。</p> <p>多様性のある江戸時代の都市 東京大学史料編集所教授 山本 博文</p> <p>江戸時代の町の特徴は、江戸に象徴される都市の巨大化と城下町・宿場町・門前町・港町など多様な町の発展であり、江戸・京都・大阪は「三都」と称され、江戸は徳川家の城下町であるとともに幕府の所在地であり、全国の大名が藩邸を構え、参勤交代を行い国元と江戸を往復していました。そのため武家人口が飛躍的に増加し、彼らの需要に応じるために商人や職人も人口を増したものである。京都は朝廷の所在地で、多くの寺社の本山もあり、伝統的な手工業の町でもありました。大坂は、「天下の台所」と称され、諸国の年貢米が集まり、十八世紀初頭には堂島の米市場で世界初とされる先物取引も行われた。</p>

江戸時代の大都市の発展は、諸国の城下町の発展に支えられていました。三都が多くの人や職人を養うことができたのは、諸国の米が集まってきたからで、彼らの扱う商品は城下町の需要に応じていました。封建制度に基づく江戸時代の「幕藩体制」は、大都市の一人勝ちにならない構造になっていたのです。

参勤交代の制度においても街道と宿場町の発展をもたらしました。街道や宿場の整備が進んだことで、庶民の旅行（伊勢参り）が行われるようにもなりました。庶民は伊勢に行くために、講を作り、旅行費用を融通しあって伊勢神宮に参拝しました。伊勢だけではなく、善光寺や金比羅宮など人気の観光地が各地に成立し、人の移動が活発になり、そうした参詣客を迎えるための門前町も発展をしました。また全国的な流通網が形成されたことにより、港町も発展します。特に蝦夷地の海産物を運ぶための北前船は、全国各地の特産品を港町を介してさまざまな場所に運びました。

このように江戸時代は、全国各地の多様な性格を持つ町が相互に影響しあい発展した時代であり、町の発展、人の移動とともに、文化や情報も先進的な大都市から地方都市にもたらされ、現代の日本の町の原型を作っていたのです。

たとえば、青森県の八戸の武家の家庭では、正月に蜜柑を食べる風習が定着していました。和歌山や四国など暖かい地域で栽培される蜜柑が、江戸に入り、参勤交代で江戸に出てきた藩士たちが蜜柑を食べる風習を身につけ、国元にもたらしたとか。

主報告

11:00~

ひと つなぐ まち ー新しい風をつかむまちづくりー
沖縄県那覇市長 城間 幹子

沖縄市の地理・気候・風土・歴史的説明と現状の紹介
那覇市の課題と取り組みについて、

那覇市が目指すこれからの都市像のあり方について
新文化芸術発信拠点施設の建設によるまちづくり構想
新しいコミュニティ（行政と市民・企業・NPO団体などの協働）の力を求めてのまちづくり
ひとや地域と企業をつなぎ、その絆の糸を幾重にも紡ぎあげ、大きな布として、やがてまち全体をやさしく包むものとなるまちづくり

一般報告

13:10~

人口減少社会の実像と都市自治体の役割

ー人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か？ー

首都大学東京大学院人文科学研究科准教授 山下 祐介

都市の魅力とは？都市とは？都市の力とは？

なぜ首都圏・大都市では、仕事があるにもかかわらず低出生率なのか。地域の創生・東京は勝者なのか？東京一極集中はおかしなものではない。観光も同じ。

ひとをつなぐ、ひとがつなぐ。世代ごとの人生設計と、行政計画・制度の連動。総都市化＝過剰依存化へ。よい依存と、悪い依存の見分け方。文化と多様性の尊重。やるべきことは、集中から分散へ。理論の再転換

一般報告

14:40~

自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり

北海道釧路市長 蝦名 大地

地方分権と地方自治、地方分権改革・自主・自立の地方自治。

世界一級の観光地づくり、長期滞在（ちょっと暮らし）の推進、入湯税超過課税の活用。

将来を見通したまちづくり、「後の世の春をたのみて植えおきし 人の

一般報告
15:50～

心の桜をぞみる」。

新たなステージに入った沖縄観光

—複合的な魅力を有するハイブリッドリゾートへ—

琉球大学観光産業科学部長・教授 下地 芳郎

「青い海・青い空・白い砂浜」のイメージが定着する沖縄観光外国観光客の増加に伴う環境の大きな変化、文化の違い等に基づくトラブルや住民生活への影響が顕在化する中、持続可能な観光経営の強化の必要性。

「観光からツーリズムへ」～都市にとってのチャンス～
沖縄観光の歴史を熟慮した施策。

沖縄観光の現状の把握。

沖縄観光の今後の課題（特に那覇市など都市部に関して）。

最後に～那覇市への期待～世界の平和研究拠点及び国際交流拠点としての21世紀の世界の津梁（架け橋）となる“優しさ”を持った世界の交流拠点都市・沖縄市となることを期待したい。

(以上)

研修会名称 (勉強会名称)	ひとつがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略
開催日時	平成 29年 11月 10日 (金) 9時30分～12時00分
開催会場	那覇市 沖縄県立武道館
テーマ	ひとつがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略 —新しい風をつかむまちづくり—
パネルディスカッション	<p>コーディネーター 早稲田大学理工学術院教授 後藤 春彦 パネリスト 株式会社能作専務取締役 能作 千春 まちとひと 感動のデザイン研究所代表 藤田 とし子 沖縄文化芸術振興アドバイザー 平田 大一 福井県勝山市長 山岸 正裕 静岡県島田市長 染谷 絹代</p>
9:30～	<p>産業観光による地方創生</p> <p>富山県高岡市にある伝統産業の日本工芸の鋳物を生業として数十年職人として技術の研磨を続けているが、25年前ある親子連れが工場見学にやってきたときのこと、「よく見なさい。勉強しないとこんな仕事になるよ」。何も知らずに言われた言葉に愕然とし、職人の地位を高め子供たちに誇りに思ってもらえる職業にしたい。そのためには仕事の内容を広くみてもらうことが大事だと考え、既成概念だけで評価するのではなく、地域、伝統の素晴らしさを伝えることが伝統産業の復活、地域の創生につながると思い、それ以来子供たちを優先に工場見学を始めた。富山県高岡市では子供たちに伝統工芸の素晴らしさを伝える授業「ものづくり・デザイン科」が始まり、今年で12年目になるということである。新商品開発と販路拡大が順調に推移し、生産が追いつかなくなったことや、見学者が年々増え対応が行き届かなくなったこともあり、4月に新社屋を建設、生産の拡大と産業観光に特化した事業を始めたそうである。旧工場では年間10,000人の見学者が新社屋になりオープンから4ヶ月で40,000人を超す盛況ぶりであるが産業観光では収益をあげることに限度がある現実が判明した。しかしながら、観光客に満足のいく産業観光を行っていくことが重要であり、大きな課題ではあるが、地元のリピーターが付き県外の知り合いや友人をつれてきていただけること、メディアの全国発信により県外やインバウンドのお客が増えていることである。産業観光を官民一体で取り組み地方創生に向けて、そして、地域経済が活性化する好循環を望むものである。</p> <p>人と人がつながり、共感で響き合う —まちの魅力と新たな地域価値創造—</p> <p>2014年秋、東京一極集中を是正し地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的に掲げられた「地方創生」。この間全国各地で様々な施策が展開され、持続可能な地域社会の実現に向け取り組んではいるが、人口減少を食い止めることは容易ではない</p>

そんな中、柏市（千葉県）の例をあげ、市民が主役のまちづくりを実現する活躍の舞台を創ること、市民主導・参画で新たな地域活性化事業の担い手、主役としてまちづくり人を輩出し、新たな担い手のインキュベーションセンターとして機能させる。

若者世代の活躍とつながりながら、新たな地域価値を創出する、田辺市（和歌山県）の例をあげながら話をして頂いた。

まとめとして、「市民起点」のまちづくり事業、新たな担い手育成のプログラム策定、住む人、暮らす人の思いと発見、言葉を大切にし、「共感」を核としたイベントを重ねることにより、まちに対する誇り・愛着を育てていく「シビックプライド創出」事業である。今、地方創生に求められるのは、持続可能な地域経営と心豊かに暮らすための「サードプレイスづくり」。多様な主体との連携により、これまで出会ったことのなかった人と人とのつながり、埋もれていた地域資源を見出しつつ、新たな地域価値創造に取り組むことが最重要であり、そのためには、「自分ゴト」としてまちづくりに取り組む地元人材の育成が不可欠である。

—感性・文化産業と沖縄感動産業戦略構築への道—

「感動立県おきなわ！を目指して」

「観光産業」は「感動を体験する産業＝感動産業」とも言える、との持論のもと、沖縄が沖縄らしく生き残る道は「文化」を基調とした「地域コミュニティの再生」を目指し「感動体験を軸とした次世代の人材育成」を図るとともに「若者が夢見る新たなシゴトのカタチ」を生み出すことである。「文化・芸術のための人づくりを行うのではなく、人づくりのため文化・芸術を活用する」という考え方を持つことで新たな水平線が見えてくる。

沖縄県に限らず他府県も、それぞれの県としての付加価値を高めるために必死の施策を講じている。他府県との差別化を図り、多くの交流人口を生み出す新たなコンセプト、インパクトあるユニークな沖縄県ならではの施策こそが必要である。「情報発信」と「実践づくり（存在感の発揮）」を意識したダイナミックな施策の展開が重要で、観光産業に資する文化資源、地域財産こそ「感動産業」の新たな解釈であり、次世代産業とも言うべき「沖縄感性・文化産業」「沖縄感動産業戦略」の構築を図ることで沖縄産業界に新たな一石を投じることになればと期待する。

ふるさとルネッサンス

—16年の軌跡—

福井県勝山市の紹介を山岸市長が自ら、後、昭和63年夏、勝山市北谷町で肉食恐竜の歯が発見されて以来、福井県では平成元年から現地において、本格的発掘調査が開始、現代までに日本の恐竜化石の多数が勝山市で発見され、この発掘・研究・展示のため県は、平成12年に勝山市に県立恐竜博物館を建設、年間90万人の入館者で賑わっている。その他有史以前の縄文・弥生時代の遺物も発掘・保存・展示し、奈良・平安時代を経て中世に強大な宗教都市として栄えた白山平泉寺の興亡の歴史と史跡発掘史料を展示する「歴史探遊館まほろば」や長繊維織物の一大産地を築いた歴史を今に伝える「はたや記念館ゆめおーれ勝山」等々でまちおこしをしてきた。

私が市長として、取り組んだのは「あなたと一緒に21世紀の勝山をつくります」というキャッチフレーズの中に「行政がすべての施策の主体になるのではなく、地域住民と一体となったまちづくりを推進したい」との思いを込め平成12年の就任後すぐに、「ふるさとルネッサンス」を理念とし、勝山市を誇りと活力に満ちたまちに復興・再生する具体的事業に取り組んだ。「復興・再生」には新しい価値観に基づいた豊かさを追求すべきだと考え、勝山市独自の自然・風土・景観・環境、歴史や伝統、そしてこの地に培われてきた特有の文化・コミュニティによって成り立っている地域の力、それらを地域住民自身が再発見することで、勝山市の個性と魅力を自信を持って表現することができ、地域の誇りにつなげたいと考えた。

それが「エコミュージアム」による構想の具体化である。各地区で地域住民が遺産を調査、再発見するための施策、「エゴマ」の復活による「エゴマ油」の生産事業、「わがまちげんき創造事業」、「わがまちげんき発展事業」「エコミュージアムによるふるさとルネッサンスの実現」「小さくてもキラリと光る誇りと活力に満ちたふるさと勝山」を掲げまちづくりを展開。事業をやるだけでなく、検証を行い、事業の改良と成果を見据えた勝山市独自のまちづくりの展開をやっています。

ひとを育て・人が育つまちづくり
—協働・連携の中で—

静岡県島田市の紹介を染谷市長自ら説明。

～市民との協働・連携～

市民参加型シティプロモーション～島田市緑茶化計画～

2千人を超す市民ボランティアで「島田型おもてなし」、大井川の河川敷に整備されたフルマラソン大会「しまだ大井川マラソンinリバティ」において、今年の第9回大会でのこと、1万人を超す参加者を支えたのが、市民ボランティアの皆さんでした。

本格的な少子高齢化社会が到来する中、市民生活や地域経済活動等に必要な公共施設整備や質の高いサービスを提供することが求められる昨今、地元企業との連携により民間の資金やノウハウを活用するほか、自治体の区域を越えた共通の課題に対しては、複数の自治体と連携して対応するなど、新たな枠組みも考慮しながら、まちづくりを行います。

民間との連携による「にぎわいの創出」、

商工団体・金融機関との連携による「地域経済活性化」

近隣自治体との連携による「圏域の活性化」

「未来の島田市」を描く作業に、市民、特に若者に積極的に参画いただき、これからの「地域づくり」「まちづくり」を考えています。

また、市民による「まちづくり」の意識の向上・醸成もさることながら、地域資源を活かした協働・連携の取り組みの推進が人を育て、人が育ち、さらに、人のつながりを生み、やがて、本市の個性、魅力をより高めていくと考えています。

次期開催市市長挨拶

新潟県長岡市長 磯田 達伸

閉会挨拶

後藤・安田記念東京都市研究所理事長

新藤 宗幸

閉会式

11:50～

(以上)

1. 会議日程

第1日目 11月9日(木)	
9:30	開会式 開会挨拶 全国市長会会長 松浦正人 開催市市長挨拶 沖縄県那覇市長 城間幹子 来賓祝辞 沖縄県知事 翁長雄志
9:50	基調講演 多様性のある江戸時代の都市 東京大学史料編纂所教授 山本博文
11:00	主報告 ひとつながりまち -新しい風をつかむまちづくり- 沖縄県那覇市長 城間幹子
12:00	昼食
12:30	歓迎アトラクション 現代版組踊シリーズアトラクション
13:10	一般報告 人口減少社会の実像と都市自治体の役割 -人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か?- 首都大学東京大学院人文科学研究科准教授 山下祐介
14:20	休憩
14:40	一般報告 自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり 北海道釧路市長 蝦名大也
15:50	一般報告 新たなステージに入った沖縄観光 -複合的な魅力を有するハイブリッドリゾートへ- 琉球大学観光産業科学部長・教授 下地芳郎
17:00	終了

第2日目 11月10日(金)

<p>9:30</p>	<p>パネルディスカッション</p> <p>【テーマ】 ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略 -新しい風をつかむまちづくり-</p> <p>【コーディネーター】 早稲田大学理工学術院教授 後藤 春彦</p> <p>【パネリスト】 株式会社能作代表取締役社長 能作 克治 春治 まちとひと 感動のデザイン研究所代表 藤田 とし子 沖縄文化芸術振興アドバイザー 平田 大一 福井県勝山市長 山岸 正裕 静岡県島田市長 染谷 絹代</p>
<p>11:50</p>	<p>閉会式</p> <p>次期開催市市長挨拶 新潟県長岡市長 磯田 達伸 閉会挨拶 後藤・安田記念東京都市研究所理事長 新藤 宗幸</p>
<p>12:00</p>	<p style="text-align: center;">昼 食</p>
	<p>行政視察 ※コースによって集合時間・場所が異なりますので、7~10ページをご確認ください。</p> <p>Aコース 世界遺産・首里城まちまーいコース Bコース 古都・首里まちまーいコース Cコース 中心市街地・市場(マチグワー)まちまーいコース Dコース 世界遺産・識名園まちまーいコース Eコース 福州園まちまーいと魚市場視察コース Fコース 旧海軍司令部壕と沖縄空手会館を巡るコース</p>

第79回

全国都市問題会議

奈良県
橿原市議会
議員



たけだ やすひこ

受付番号: 0434-002

1694



プログラム

第1日

平成29年
11月9日(木)

- 8:30 受付開始
- 9:30 開会式
- 9:50 基調講演
- 11:00 主報告
- 12:00 ~昼食~
- 13:10 一般報告①
- 14:20 ~休憩~
- 14:40 一般報告②
- 15:50 一般報告③
- 17:00 終了

第2日

平成29年
11月10日(金)

- 8:30 開場・受付
- 9:30 パネルディスカッション
- 11:50 閉会式
- 12:00 ~昼食~
- 行政視察

